

▲政 憲兩派の市會議員に與ふる勸告書

八幡市上水道敷設に關し市會議員諸君がよく公党としての仕事を完うし須らく私情を捨てて市百年の大計の爲めに全市民の要望に副ふべく盡瘁せられん事を勸告す。

▲理 由

諸君の親任する市長新聞記者は潛越にも、何れ諸君に圖る事なく諸君の期待を裏切つて上水道敷設の事に一大蹙跌を來さしめて居る。即ち従来の水源干地たる大蔵川流域を放抛して之に代はるに遠賀川の泥水を以てし、然も龐大な予算を計上し且つ社選極まる月論見書を作成し以て自志を逞うせんとしてある事は去る二十三日の市會本會議に於て諸君が敢然としてこれか原案の撤回を要求せられた事に依つて明である。市民を欺等せんとする市長新聞記者の提議する諸君がよく私情を捨てて公明正大の態度を表したる事は我等の感激措く能はざるものである。我等は今衷心から要求する。

諸君が十三万市民のため敢然として戦はん事を、若し天此苟合安賜、事態を糊塗編織して市民を愚にするが如き事あらへば市民は憤然として起つて諸君を激するであらう。

八幡市政は危機に瀕して居る。唯諸君が公党としての任務を全する事に依つてのみ此の頽勢を挽回する事か出来る。故に全市八幡市民の爲めの市政を行はんが爲め右の如く勸告する所である。

大正十五年八月廿六日 民意党代表 市民大會

▲右文合の決議文は廿八日の結核市會に於て市會議員に對する勸告文は朗讀なしたれ共、市長の決議決議文は市長言を左右にして受理せず、且同議員をして市長に手交せしめた。

■支那建立に關する件

八月廿九日の中央各會に於て勞農黨支部組織運動に全力を注進せられたが、労働は全く等閑となつて居る故本年三月の決議に違つて支部組織を完成せしめる事を決議し、此際使因傳の誤解を受け居る處あるに付、支部組織運動を起すに雖もまぬは誤して他意あるに非ず本年三月中央各會に於て決議せられたるものを今日迄勞農黨支部組織中に付き特に考慮せらるゝるべき之を復活せしめたるものなり、此の故に此の支部組織確立の上は之を解凍して加入するものなり、故に此の支部組織は民意黨の組織を完成せしめたるものなり、故に此の支部組織するものがあるとの事期言を發表する事に決した。

▲勞農黨八幡支部組織準備委員選出

九月十七日の最大執行各會に於て勞農黨八幡支部組織準備委員十六名を選出

- ▲委員 青野 波田 堂本 三浦 米村 國師 金森 池田
- ▲委員 青野 波田 堂本 三浦 米村 國師 金森 池田

▲勞農黨八幡支部組織準備委員の選出に關しては、前記の如く、労働は全く等閑となつて居る故本年三月の決議に違つて支部組織を完成せしめる事を決議し、此際使因傳の誤解を受け居る處あるに付、支部組織運動を起すに雖もまぬは誤して他意あるに非ず本年三月中央各會に於て決議せられたるものを今日迄勞農黨支部組織中に付き特に考慮せらるゝるべき之を復活せしめたるものなり、此の故に此の支部組織確立の上は之を解凍して加入するものなり、故に此の支部組織は民意黨の組織を完成せしめたるものなり、故に此の支部組織するものがあるとの事期言を發表する事に決した。